

**早** 秋の全国交通安全運動実施  
**目のライトで交通安全を呼びかけ**

9月21日から30日まで、秋の全国交通安全運動を行い「広めよう 早めのライトと反射材」をテーマに、交通安全指導員による朝・夕のパトロール、交通安全代議員等の皆さんによる朝の街頭指導を実施しました。初日の21日夕方には、多くの方々の御協力により、なんぶ葬祭前(阿賀)でキャンペーンを行い、ドライバーの皆さんへチラシを配布し早めのライト点灯等を呼びかけました。



チラシと南部町産の長ナスで「交通事故ナシ! (なし)」を呼びかけました



お父さんの背中、おっきいなあ〜

**ふ** 親子ふれあい遊び開催  
**れて遊んでスキンシップ**

9月22日に農業者トレーニングセンターで、幼児とその保護者を対象とした「第2回親子ふれあい遊び」が行われました。

指導した皆生養護学校教諭の野口明紀先生は「最近の子どもたちに不足している力は感覚能力。それを補うには親子で楽しくからだを動かしスキンシップを図るのが1番」と話し、保護者の背中に乗るお馬さんや、手や体を使ったふれあい遊びで楽しみました。

今回初めて参加した田貝さん(金田)は「普段は帰りも遅くふれあう時間がとれないので、今日は子どもの喜んだ顔が見られて良かったですね」と話しました。

**こちら地域振興協議会**

大國

あいみ手間山

**音楽を聴いて語り合う**

平成24年度大國地域・振興区別人権懇談会が9月26日、おおくに田園スクエア交流室で開催されました。今年は従来と趣を変えて「障がいと人権」のテーマで「心に響く音楽会」と題して視覚障害を克服し、一流と呼ばれる3人の音楽家のエピソードを聞き、CDを聴いて障がい者の人権問題について語り合ってもらいました。

1人目はピアニストの辻井伸行さん、2人目はステイービーワンダーさん、3人目は津軽三味線の高橋竹山さんでした。秋の夜長に面白い企画だったようです。



懇談会の様子

**手間発! 赤猪岩古代米**

古事記編纂1300年の今年、農事組合法人寺内農場に委託して、古代米(黒米)を赤猪岩神社前のほ場で栽培しています。これは「みんなで支えあう中山間地域づくり総合支援事業」を活用して、生産・加工・販売等、古代米のPRをしながら、地域の活性化・地域間交流を深める事を目的として実施しています。

収穫時期を迎え、ハデ干しでゆっくり乾燥される古代米。この風景は、昔を思い出し、心が温まります。もうすぐ収穫ですが、収穫後は小袋販売の他、ポン菓子等に加工して販売する予定です。



▲赤猪岩神社前 ほ場にて

▶古代米(10月初旬撮影)

